

沿革・自然

町名の由来

明治23年（1890年）、網走釧路間に仮県道が開削され、翌24年に駅通が開設されました。当時、県道沿いのポンヤンベツ川付近（現在の小清水1区）に湧き水があり、きれいに澄んだ冷たくおいしい飲み水として旅人らに親しまれていたため、この小さな清水の名を取って駅通の名を「小清水」と決めました。また、ポンヤンベツ川の名そのものも、アイヌ語でポン（小さい）、ヤムベツ（清水の川）という意味を持ち、小清水市街地がこの川のほとりにできたこともあり、両方の由来から大正8年（1919年）の第一回村会において村名を「小清水村」と決定しました。

沿革

開拓前、止別原野はカシワやナラ、カヤやハギが密生するうっそうとした原生林で、止別川口、^{やむべつ}湧沸湖畔、^{とうふつ}湧釣沼及びニクル沼付近にアイヌの人たちがそれぞれ小さな集落をつくっていました。

明治5年、北見国根室支庁斜里郡として戸長がおかれ、現小清水はこの郡にありましたが、当時斜里郡は^{そりまい}蒼瑠、^{しゆえん}止別、^{おんねべつ}斜里、朱円、遠音別の5つの村から成っていました。

小清水町の歴史は明治12年7月「郡区町村編成法」が制定され、斜里郡斜里村外4ヶ村の行政区が確定したのが始まりです。その後、大正8年4月に旧斜里村より分村し小清水村が誕生、昭和28年10月には町制施行、同43年には開町50周年を記念して町民憲章を制定、平成10年にはふるさとこしみず120年・開町80年を迎え、現在2世紀目を邁進している町です。

小清水町は畑作と酪農を中心として発展を続けている純農村で、就業人口の36.2%が農業を中心とする第1次産業で占められています。




北網地域の南端に位置する小清水町は、国道244号（網走～小清水～斜里）、同391号（小清水～弟子屈～釧路）、同334号（美幌～小清水～斜里）を中心とする道路網で北網地域と釧路地域を結ぶ交通上の要所となっていることに加え、西30kmのところに女満別空港があり、全国の主要都市と短時間で結ばれるなどその重要性を増しています。

少子高齢化や高度情報化、地球規模での環境問題、社会経済構造の急激な変革は、生活、文化など住民の基本的な諸条件に大きな変化を与えており、これら変化する社会・経済活動に対応しつつ新たな発想に立ち、本町の特性を活かしたまちづくりを推進するため、平成32年度を目標とする第5次小清水町総合計画を策定、「マイライフタウン小清水 大自然の中で、小清水版ライフスタイルを創造するまち」を実現すべく、「生活を創造するまち」「元気で活力のあるまち」「人が育ち・創るまち」をまちづくりのテーマとし、たゆみない歩みを続けています。

町章の由来



本町の町章は、町制施行を記念して昭和28年10月7日に制定されました。

 は「小」、 は「清」、そして  は「水」を表し、この3文字を合わせて小清水の意味を表し、町民一丸となった理想郷「小清水」を象徴しています。

エゾスカシユリ

（昭和43年9月20日制定）

オホーツクの海が明るさを増し、初夏の陽光がさんさんとふりそそぐ原生花園砂丘に群がり咲くありさまは、目をみはるばかりの美しさで、本町を象徴する名勝の名花として、広く町民に愛されていることから選定されました。

町の花

ミズナラ

（平成3年9月27日制定）

大地にどっしりと根をおろし、強い生命力は21世紀を力強く羽ばたこうとする小清水町のシンボルとするにふさわしいとの理由により選定されました。

町の木

オオハクチョウ

（平成10年9月28日制定）

湧沸湖に飛来する代表的な水鳥として内外に広く知られており、素晴らしい自然環境に恵まれた我が町のイメージにふさわしい鳥であることから、ふるさと小清水120年・開町80年を記念し、「町の鳥」として選定されました。

町技

ソフトボール

（昭和48年3月19日制定）

老若男女こぞってスポーツに親しむまちづくりの方向を打ち出そうと、大衆スポーツとして「ソフトボール」が選定されました。

沿革・自然

位置・広ぼう

北海道の東北部、オホーツク海に面したオホーツク総合振興局管内東部を占める斜里郡にあり、郡内の西部に位置しています。周囲は、北が全面オホーツク海に面し、東は斜里町、清里町と、西は網走市、大空町と、南は釧路総合振興局管内弟子屈町とそれぞれ接しており、総面積は287.04km²です。



地目別土地面積（固定資産概要調書）

地目	面積	
	平成19年度	平成23年度
宅地	3,163,215 m ²	3,692,909 m ²
畑	10,646 ha	10,652 ha
山林	15,400 ha	14,506 ha
牧場	690 ha	675 ha
原野	198 ha	332 ha
雑種地	347 ha	380 ha
その他	1,107 ha	1,790 ha
計	28,704 ha	28,704 ha

気象の概要

本町は、北辺が全面オホーツク海に面しており、内陸部は北見山地と千島火山帯に遠巻きに包まれているので、オホーツク海の海流、海霧、流氷などの影響を受ける「オホーツク海区型気候」と、ケツペンの気候区分による「亜寒帯多雨気候区」の2つの様相が連続混こしています。

春の訪れは例年4月中旬ごろで、夏は暑く短く、内陸性気候を示します。

冬は降雪量は少ないものの、季節風のため地吹雪は凄まじく、また流氷接岸の南限になり、凍雪があたり一面を覆う長い冬がやってきます。

年別気象概況

網走地方気象台

区分	気温					降水量			風速			年間日照時間	
	最高		最低		平均	総量	1日最多量		平均	最大			
	最高極	起日	最低極	起日			量	起日		風速	風向		起日
19年	34.8℃	8月15日	-20.5℃	2月10日	6.3℃	605mm	55mm	7月22日	1.5%	9.0%	北西	2月14日	1,718.8h
20年	31.1	8月6日	-22.4	2月1日	6.3	496	43	8月27日	3.7	17.3	南南東	5月20日	1,832.4
21年	30.2	6月26日	-17.9	3月3日	6.6	831	60	7月27日	3.7	18.7	南南東	3月6日	1,685.2
22年	36.1	8月6日	-22.9	2月4日	7.2	782	78	8月12日	3.6	20.0	南南東	12月3日	1,829.6
23年	34.8	8月1日	-22.1	1月31日	6.7	777	54	9月2日	3.5	15.7	南南東	11月24日	1,945.1

太線は、観測場所の移転、測器の変更などの理由により、観測データがこの前後で均質でない可能性があります。

平成23年 気象概況

網走地方気象台

区分	気温			降水量		風速		月間日照時間
	平均	最高値	最低値	月量	最大日量	平均	最大	
	℃	℃	℃	mm	mm	%	%	h
1月	-7.7	0.3	-22.1	15	4	3.2	11.9	113.0
2月	-4.9	8.2	-17.7	24	8.5	3.8	14.1	153.5
3月	-1.9	7.6	-15.3	8.5	2	3.3	13.3	201.1
4月	4.7	19.3	-3.8	62	23	4.4	14.5	160.9
5月	7.6	24.5	-1.6	57.5	14	3.9	15.3	169.6
6月	14.8	30.0	3.1	113	27.5	3.4	11.1	170.4
7月	18.6	29.8	10.8	82	27	3.0	10.8	164.3
8月	20.9	34.8	11.9	105	28.5	3.2	10.9	212.0
9月	17.9	30.6	7.5	182.5	53.5	3.6	15.6	151.8
10月	10.5	20.8	0.3	81	28	3.6	12.3	178.2
11月	4.2	16.9	-10.5	19.5	7.5	3.2	15.7	129.9
12月	-4.3	2.9	-17.7	27	10.5	3.5	11.4	140.4
全年	6.7	34.8	-22.1	777	53.5	3.5	15.7	1,945.1